

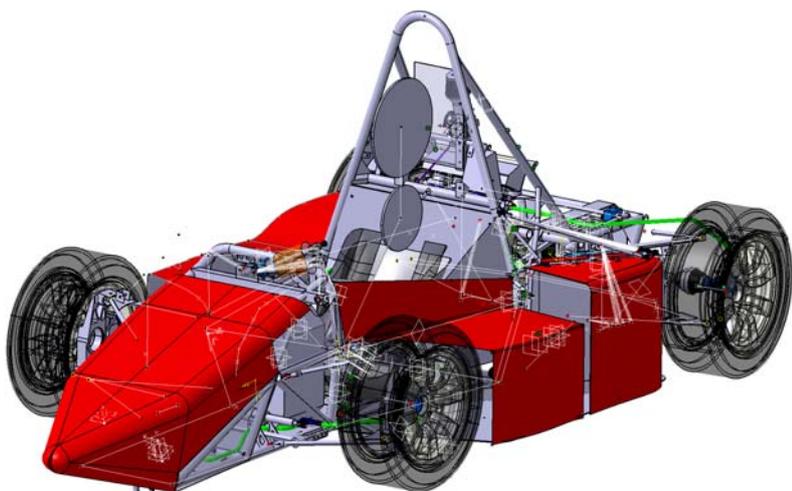


10回目の挑戦

KIT-formula

KIT-formula

<http://formula.mech.kyutech.ac.jp/~formula/kitformula/index.html>



Presentation プレゼンテーション

マシン名: **KMR-14**

今年度は、チームの弱みであったマネージメントの強化に努め、総合順位10位以上を目標として、活動を行ってきました。また、昨年度、一昨年度にマシンの不調によって思うような成績が残せていない事などから、マシンコンセプトを「高い信頼性」と定め、トラブルが少なく、大会で本来の実力を発揮できるマシンの製作をめざしました。

昨年度は当初の予定から1ヶ月以上遅れた5月にシェイクダウンを行い、パーツも前年度のものを流用したものが多く、完成度の低いものでした。これらのことから、完成度の高いマシンの早期完成が重要であり、そのためには日程管理の徹底が必須であると考えました。そこで、今年度は新しくマネージメント班を設け、そのマネージメント班を中心に、毎週のミーティングでの進捗報告、早い段階での各パーツの設計方針の明確化やレイアウトの検討などを行い、進捗管理、日程管理の徹底を図りました。

その結果、今年はチーム初となる4月中旬にシェイクダウンを行うことができました。残念ながら全てのパーツが今年度のものではありませんでしたが、例年よりも完成度の高いシェイクダウンを行うことができ、余裕を持って静的審査書類の作成やマシンの改良、テスト走行を行うことができました。走行練習を多く行ったことで、例年よりも完成度の高いマシンを製作することができました。

Participation report 参戦レポート

大会初日のプレゼンテーション審査では、発表の内容や構成、練習が未熟であり、22位と昨年度よりも順位を落とす結果となってしまいました。昨年度-100点のペナルティをもらったコスト審査では、日程管理の強化や分かりやすい裏付け資料を作成したこともあり、9位と躍進することができました。またデザイン審査でも、過去最高の順位を獲得することができ、これまで苦手としてきた静的審査で結果を残すことができました。

技術車検では、昨年度同様修正箇所ひとつと、惜しくも一発合格とはなりませんでしたが、大きな修正がなかったことは、チームの車検適応力が向上している証だと思えます。また、昨年度苦戦した騒音試験とブレーキ試験は、チーム内で何度もテストを重ねていたため、どちらも一発で合格することができました。

車検をスムーズに通過できたため、昨年度出場できなかったアクセラレーション、スキッドパッドに出場することができ、スキッドパッドでは12位と好成績を残すことができました。オートクロスでも目標タイムを達成しましたが、惜しくもAグループに残ることができませんでした。エンデュランスでは、雨天での出走となってしまう、タイムが伸びない上、水温の低い状態で走ることとなり、17周目途中でガス欠によりリタイヤとなってしまいました。

今年度は、マシンの早期完成や静的審査での好成績など、上位入賞の期待が大きかった分、エンデュランスを完走できなかったことは非常に悔しいです。来年はよりハイレベルなマシンを製作し上位入賞をめざします。



今回の総合結果・部門賞

●総合 29位

Profile チーム紹介・今までの活動

私たちKIT-formula、2004年に発足し、全日本学生フォーミュラ大会には翌年の第3回大会から毎年出場しています。2011年の第9回大会では総合9位と初のトップ10入りを果たしました。今年度はマシンコンセプトを「高い信頼性」と定め、大会で実力を発揮できるマシンをめざして活動を行いました。

Team-member チームメンバー

木村 俄竜 (CP)

河部 徹 (FA)、森 直樹 (FA)、佐々木 浩二、中村 允紀、山口 直人、松田 敦志、長 慶幸、中川 朋哉、原口 貴大、松井 政憲、後藤 由希考、大野 史希、小塚 悟史、坂田 匠成、神野 佑也、宮崎 光徳、西行 響、森井 勇作、吾郷 愛由、稲津 里香、岩渕 大允、園田 慶太、曲淵 公紀、上野 友基、大友 晋輔、中尾 薫平、中野 佑里香、村上 祐尉、中根 寛史、山口 駿介

Sponsors スポンサーリスト

アールエーシー、石原ラジエーター工業所、エア・ガンズ北九州、NTN、F.C.C.、オフィスケイ、川崎重工業、キノコエンタープライズ、九州工業大学機械実習工場、協和工業、サイアン、佐々木工業、棟葉鉄工所、住友電装、高田工業所、ダウ化工、THK、トレイルボックス、深井製作所、プライムガレージ、プロト、前田金属工業、マツハFC、ミスミグループ本社、ミネベア、ミヤキ、明専会、やまと興業、ヤマナカコーギン、レーシングサービスワタナベ、和光ケミカル (50音順)